

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 6 年3月定例会	
議案番号 議案名	議案第60号 令和 5 年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区 土地区画整理事業特別会計補正予算(第 1 回)
議員名・会派名等	市民力(山中啓之、湯浅文)
賛否態度	反対
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>※市民力は、本会議および委員会での討論という本来の発言を最大限に活かすことこそが議員の責務と考えます。非公式の場に、議会で発言してもいない意見を掲載するというやり方は、議員自らが議会における議論を軽視する行為であるとの考えから、以下、本会議・委員会など公の場で討論した内容を掲載いたします。</p> <p>こんにちは。市民力の山中啓之です。 議案第60号「令和 5 年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第 1 回)」について、市民力(山中・湯浅)を代表して反対の立場から討論致します。</p> <p>かねてより様々な課題を指摘しております本事業ですが、先に行われました建設経済常任委員会において、本補正に計上されております「土地区画整理整備業務」及び「繰越明許費」について質疑を重ねました。</p> <p>本議案における論点の1つは、これまで令和 5 年度中を目指すとしていた仮換地指定を、1年間延長して令和 6 年度中を目指すという点です。強引な年度内完了を目指さなかった事を評価する声もあるようですが、実際には市が積極的に延長したのではなく、地権者が自ら市との交渉に臨んだ末に獲得した期間であり、結果的に延長となったというのが妥当な認識だと考えております。</p> <p>そもそも令和 5 年度中の仮換地指定を目指すというスケジュール自体について情報公開が不足していました。市は地権者及び審議会には当然説明したものの、広く市民に対しては委員会答弁での言及が確認されたくらいです。私の元には住民からスケジュールについて度々聞かれることがありました。このような事業の基本的な大まかなスケジュールは本来、広く住民に丁寧な説明を行い、周知するべきです。更に今回、1 年延長となり令和 6 年度中とされた後も、公開状況の変更が見られませんでした。事業に対して「丁寧な説明を行う」と繰り返される言葉とは裏腹に、市の姿勢に改善が見られません。</p>

次に、本補正で全額減額となった「排水管布設工事負担金」に起因している3・4・18号馬橋-根木内線の電線工事に際し、ある地権者の方の住所が明記されたビラが工事を行う事業者によって、当該地権者及び周囲の住宅に配布されていたという事が耳に入りました。そして、先日(2/26)の建設経済常任委員会で私が質疑したところ、市はこれを事実と認めました。当該地権者はこの唐突な事態に困惑し、大変な不安と憤りを感じていらっしゃいます。

ここでも「丁寧な説明を行う」と繰り返される言葉とは裏腹な状況です。一般的な工事の進め方に照らして考えても、あまりに地権者に対して非常識な対応が行われていると言わざるを得ません。

市もビラがまかれることを認識していなかったとの事ですが、事前によく業者と協議して、失礼なことが行われぬよう、特に丁寧な説明を行うべき事案であったにもかかわらず、それが不足していたため、このような事態を引き起こしたのだと考えます。

地権者の責任とは言えない、通常では到底ありえないようなトラブルが生じている事を問題視しています。

そして最大の反対理由は、本区画整理事業区域内において県に指定された土砂災害警戒区域等の指定、いわゆるレッドゾーン・イエローゾーンの指定をうけている部分で、工事が行われる可能性が高い事です。

今回、市はこの土砂災害警戒区域等の指定以降、当初のアクセス道路の計画を大きく変更し、立体換地建築物(大型マンション)の位置をわざわざずらし、駅前広場や公園の大きさを縮小し、ウォーカブルなまちづくりという言葉を持ち出し、土地利用計画の変更を行おうとしていますが、それでも依然として一部警戒区域内にこのアクセス道路等が含まれています。つまり、まちびらき時期を延長しない事を優先したために、本道路工事とゾーン解除への改良工事が同時併行して行われる可能性が極めて高くなっています。

そもそもこのレッドゾーン・イエローゾーンはその名称が示す通り、災害時を警戒し、備えるための行政による明確な線引きのはずです。しかし、それを知りながらゾーン指定が解除されぬ段階で同時に当該箇所に係る工事が行われるとすれば、当然安全とは言えません。常任委員会でも100%安全なのかとお聞きしましたが、やはりそうは断言頂けませんでした。

本件は工事事業者等の人命にかかわる件であります。今ならば区域を重ねないようにすることが行政の手によって可能です。しかし、今回の変更計画は重なったままです。講演の面積を減らしてまで、工事中の危険性を確信的に残した点を見逃すわけにはいきません。

以上の理由から、本補正予算に対して多くの認めがたき点が存在す

るため、反対いたします。